

第6回 定時株主総会 招集ご通知

自2020年4月1日 至2021年3月31日

日時

2021年6月25日(金曜日)
午前10時(受付開始:午前9時)

場所

東京都千代田区飯田橋三丁目10番8号
ホテルメトロポリタン エドモント
本館2階「悠久」

株式会社C&Fロジホールディングス

証券コード: 9099

目次

■ 第6回定時株主総会招集ご通知	1
■ 株主総会参考書類	7
第1号議案 剰余金処分の件	
第2号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)7名選任の件	
第3号議案 監査等委員である取締役4名選任の件	
(添付書類)	
■ 事業報告	21
■ 連結計算書類	38
■ 計算書類	40
■ 監査報告書	42

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、同封の「議決権行使書」の郵送またはインターネットによる議決権の行使をご選択いただき、株主総会当日のご来場を見合わせいただきますようお願い申し上げます。



Provided by TAKARA Printing

パソコン・スマートフォン・
タブレット端末からもご覧
いただけます。

<https://s.srdb.jp/9099/>



株 主 各 位

東京都新宿区若松町33番8号
株式会社C&Fロジホールディングス
代表取締役社長 綾 宏 将

第6回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当社第6回定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本株主総会につきましては、新型コロナウイルス感染防止のため、適切な対応策を実施させていただいたうえで、開催させていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、人との接触を低減する取組みが要請されている状況に鑑み、感染拡大防止の観点から、可能な限り株主総会当日のご来場をお控えいただき、書面またはインターネットによる事前の議決権行使をお願い申し上げます。ご協力いただけます場合は、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、2021年6月24日（木曜日）午後6時までに議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 2021年6月25日（金曜日）午前10時（受付開始：午前9時）
 2. 場 所 東京都千代田区飯田橋三丁目10番8号
ホテルメトロポリタン エドモント 本館2階「悠久」
（末尾の会場ご案内図をご参照ください。）
 3. 目的事項
報告事項
 1. 第6期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第6期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）計算書類報告の件
- 決議事項
- | | |
|-------|----------------------------|
| 第1号議案 | 剰余金処分の件 |
| 第2号議案 | 取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件 |
| 第3号議案 | 監査等委員である取締役4名選任の件 |

4. 招集にあたっての決定事項

- (1) 議決権行使書用紙とインターネットにより重複して議決権を行使された場合は、インターネットによるものを有効な議決権行使として取扱わせていただきます。
- (2) 議決権行使書用紙において各議案に賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとして取扱わせていただきます。
- (3) インターネットにより複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。

以 上

- ~~~~~
- ◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。また、資源節約のため、本招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。
 - ◎本株主総会の招集ご通知に際して提供すべき書類のうち、「業務の適正を確保するための体制及びその運用状況」、「連結株主資本等変動計算書」、「連結計算書類の連結注記表」、「株主資本等変動計算書」及び「計算書類の個別注記表」として表示すべき事項につきましては、法令及び定款第15条に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト (<https://www.cflogi.co.jp/>)に掲載しております。なお、本定時株主総会招集ご通知添付書類は、監査報告を作成するに際し、監査等委員会及び会計監査人が監査した対象の一部であります。
 - ◎株主総会参考書類、事業報告、連結計算書類及び計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト (<https://www.cflogi.co.jp/>) において、修正後の事項を掲載させていただきます。
 - ◎新型コロナウイルス感染防止のため、ご出席の株主の皆さまには、サーモグラフィーカメラ等により体温測定をさせていただき、体温が高い方や体調が悪いように見受けられる方につきましては、別会場にご案内させていただくか、あるいは、ご入場をお断りさせていただく場合がございます。また、株主総会会場にてマスクの着用やアルコール消毒等のご協力をお願いいたします。なお、当社関係者もマスクを着用して対応させていただく場合がございますので、ご了承くださいようお願い申し上げます。その他、今後の状況により株主総会の運営に大きな変更が生ずる場合は、インターネット上の当社ウェブサイト (<https://www.cflogi.co.jp/>)においてお知らせいたします。

議決権行使についてのご案内

■ 事前に議決権を行使いただく場合



書面による議決権行使

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご記入いただきご送付ください。

行使期限 2021年6月24日（木曜日）午後6時必着



インターネットによる議決権行使

次頁のインターネットによる議決権行使のご案内をご高覧の上、画面の案内に従って、賛否を入力してください。

行使期限 2021年6月24日（木曜日）午後6時まで

スマートフォンでの議決権行使は、「スマート行使」をご利用ください。

■ 株主総会にご出席される場合



当日ご出席の際は、お手数ながら本招集ご通知をご持参いただくとともに同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

開催日時 2021年6月25日（金曜日）午前10時（受付開始：午前9時）

❗ ご注意事項

※郵送とインターネットにより重複して議決権行使された場合は、インターネットによるものを有効な議決権行使として取扱わせていただきます。

※インターネットにより複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。

※インターネットのご利用環境、ご加入のサービスやご使用の機種によっては、議決権行使サイトが利用できない場合があります。

※議決権行使サイトへのアクセスに際して発生するインターネット接続料、通信費等は株主様のご負担となります。



Provided by TAKARA Printing

「ネットで招集」なら「スマート行使」へ簡単アクセス！

「スマート行使」をスムーズにご利用いただけるよう、カメラボタンを設置。QRコードを撮影いただけます。詳細は次のページをご覧ください。

(ご参考)



招集ご通知をインターネットで簡単・便利に!!

「ネットで招集」のご案内



本招集ご通知は、「ネットで招集」を採用しています。
ぜひ、ご活用ください。

アクセスはこちら!! ▶ <https://s.srdb.jp/9099/>

招集ご通知の掲載内容をコンパクトにまとめ、スムーズな画面遷移を実現した「ネットで招集」。パソコン・スマートフォン・タブレット端末からいつでもどこからでもご覧いただけます。

POINT 1 議決権行使ウェブサイトへ簡単アクセス

このボタンからインターネット議決権行使ウェブサイトへアクセスいただけます。

POINT 2 「スマート行使」に簡単アクセス!

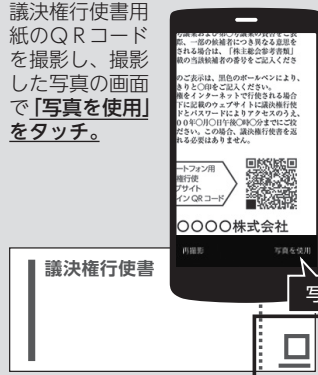
カメラが起動し、議決権行使書用紙のQRコードを撮影すると、ID・パスワードなしで議決権行使ウェブサイトへアクセスいただけます。



「スマート行使」ボタンをタッチ後カメラが起動します。

議決権行使書用紙のQRコードを撮影し、撮影した写真の画面で「写真を使用」をタッチ。

「OK」を選択後、「スマートフォン用議決権行使ウェブサイト」へアクセスいただけます。



POINT 3 簡単スケジュール登録

開催日時はGoogleカレンダーと連携しています。Googleカレンダーを利用している方は簡単にスケジュール登録をすることができます。

POINT 4 株主総会会場へのアクセスにも便利

開催場所の地図はGoogleマップと連動しています。





インターネットによる議決権行使のご案内

「スマート行使」によるご行使

同封の議決権行使書用紙に記載された「スマートフォン用議決権行使ウェブサイトログインQRコード」を読み取りいただくことにより、「議決権行使コード」および「パスワード」が入力不要でアクセスできます。

議決権行使期限 2021年6月24日（木曜日）午後6時まで

1. QRコードからスマートフォン用議決権行使ウェブサイトへアクセス

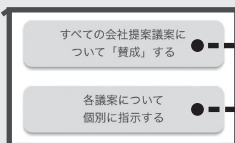


同封の議決権行使書用紙の右下「スマートフォン用議決権行使ウェブサイトログインQRコード」をスマートフォンかタブレット端末で読み取ります。

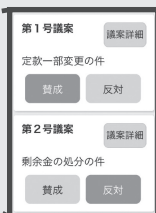
2. 議決権行使方法を選ぶ



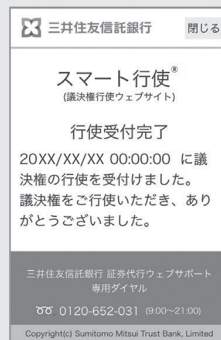
表示されたURLを開くと議決権行使ウェブサイト画面が開きます。
議決権行使方法は2つあります。



3. 各議案について個別に指示する場合、画面の案内に従って各議案の賛否をご入力ください



4. 確認画面で問題なければ「この内容で行使する」ボタンを押して行使完了



! 上記方法での議決権行使は1回に限ります。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

インターネットによる議決権行使のご案内

議決権行使コード・パスワード入力によるご行使

議決権行使ウェブサイト

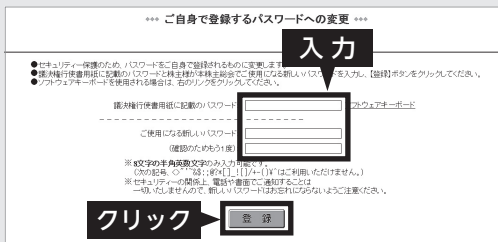
<https://www.web54.net>



インターネットによる議決権行使は、当社の指定する上記の議決権行使ウェブサイトをご利用いただくことによつてのみ可能です。

議決権行使期限	2021年6月24日（木曜日） 午後6時まで
---------	---------------------------

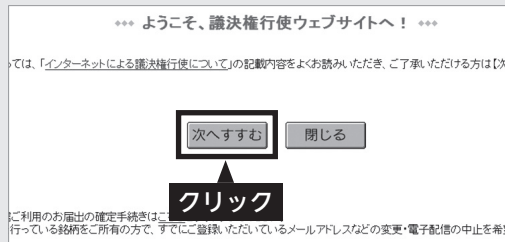
3. パスワードの入力



お手元の議決権行使書用紙に記載された「初期パスワード」と、実際にご使用になる「新しいパスワード」を入力し、「登録」をクリック

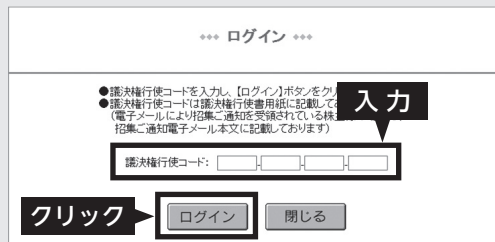
以降は画面の案内に従って
賛否をご入力ください。

1. 議決権行使ウェブサイトにアクセスする



「次へすすむ」をクリック

2. ログインする



お手元の議決権行使書用紙に記載された「議決権行使コード」を入力し、「ログイン」をクリック

議決権行使ウェブサイトのご利用に関するお問い合わせ
三井住友信託銀行
証券代行ウェブサポート（専用ダイヤル）

☎ 0120-652-031

（受付時間 9:00～21:00）

株主総会参考書類

議案及び参考事項

第1号議案 剰余金処分の件

当社は、株主の皆さまへの配当の充実を図りながら、将来の事業展開と経営体制強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。当期の期末配当につきましては、当期の事業会社の業績及び今後の事業展開等を勘案し、以下のとおりといたしたいと存じます。

期末配当に関する事項

(1) 配当財産の種類

金銭といたします。

(2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき金11円といたしたいと存じます。

なお、この場合の配当総額は276,708,190円となります。

これにより、中間配当金11円を含めました当期の年間配当金は、1株につき金22円となります。

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2021年6月28日といたしたいと存じます。

第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件

本定時株主総会終結の時をもって、取締役（監査等委員である取締役を除きます。以下、本議案において同様です。）8名全員が任期満了となります。当社は、取締役会が担っていた業務執行と監督の機能を分離し、責任を明確化することで、取締役会がより責務に忠実に業務を遂行する体制を構築するとともに、コーポレート・ガバナンスのより一層の強化を図るため、本定時株主総会終結後に執行役員制度を導入いたします。つきましては、取締役構成数を減員し、取締役7名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は次のとおりであります。

候補者番号	氏 名		
1	再任	綾 宏 将 <small>あや ひろ まさ</small>	
2	再任	武 藤 彰 宏 <small>むとう あき ひろ</small>	
3	再任	松 田 鞆 夫 <small>まつただ ゆきお</small>	
4	新任	矢 田 市 郎 <small>や た いち ろう</small>	
5	新任	安 喰 徹 <small>あぐい とおる</small>	
6	再任	小 澤 涉 <small>おざわ わたる</small>	社外取締役候補者 独立役員
7	再任	水 谷 彰 宏 <small>みず たに あき ひろ</small>	社外取締役候補者 独立役員

※各取締役候補者の個別の選任理由については各候補者の略歴をご参照ください。

候補者番号	ふりがな氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式数
1	<p style="text-align: center;">再任</p> <p style="text-align: center;">あや ひろ まさ 綾 宏 将 (1956年5月13日)</p>	<p>1980年4月 農林中央金庫入庫 2006年7月 同庫営業第五部長 2008年4月 株式会社ヒューテクノオリン入社 顧問 2008年6月 同社常務取締役管理本部長 2012年6月 同社専務取締役管理本部長兼財務経理部長 2014年6月 同社代表取締役社長 2015年10月 当社取締役副社長 営業担当 2019年6月 当社代表取締役副社長 営業担当 2020年10月 当社代表取締役社長 (現任)</p>	13,612株
<p>[候補者とした理由]</p> <p>同氏は、当社グループの主力事業会社である株式会社ヒューテクノオリンにおいて、管理部門の要職を経て、2014年6月より代表取締役社長に就任し、2015年の当社設立より、取締役副社長、代表取締役副社長として当社グループの経営全般に携わるとともに、事業会社での経験をもとに営業担当を務めるなど、当社グループに関する相当の知見と経営に関する豊富な経験を有しております。また、2020年10月に代表取締役社長に就任し、経営全般の重要事項について、適切な意思決定及び中期経営計画達成のためにリーダーシップを発揮しております。これらのことから、今後も当社グループの更なる発展と価値向上を牽引することが期待されるため、引き続き取締役候補者いたしました。</p>			

候補者番号	ふりがな氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式数
2	<p style="text-align: center;">再任</p> <p style="text-align: center;">むとう あきひろ 武藤 彰宏 (1954年11月2日)</p>	<p>1977年3月 株式会社レナウン入社 1999年2月 同社経理部長 2006年3月 同社取締役執行役員経営企画室長 2010年9月 名糖運輸株式会社入社 経理部長 2011年6月 同社取締役経理部長兼経営企画部長 2014年6月 同社常勤監査役 2015年6月 同社取締役経営企画部長兼海外事業部長 2015年10月 当社常務取締役 経営企画・管理担当兼経営企画部長 2017年4月 当社専務取締役 経営企画・管理担当兼経営企画部長 2020年6月 株式会社C & F サポートサービス代表取締役社長 (現任) 2020年10月 当社代表取締役専務 経営企画・管理担当兼経営企画部長 2021年4月 当社代表取締役専務 経営企画・管理担当 (現任)</p> <p style="text-align: center;">(重要な兼職の状況) 株式会社C & F サポートサービス 代表取締役社長</p>	2,400株
<p>[候補者とした理由]</p> <p>同氏は、当社グループの主力事業会社である名糖運輸株式会社において、管理部門等の要職を歴任し、2015年の当社設立より、常務取締役、専務取締役として当社グループの経営全般に携わるとともに、幅広い見識をもとに経営企画・管理担当を務めるなど、当社グループに関する相当の知見と経営に関する豊富な経験を有しております。また、2020年10月に代表取締役専務に就任し、経営全般の重要事項について、適切な意思決定及び中期経営計画の実現、管理部門の強化を推進しております。これらのことから、今後も当社グループの更なる発展と価値向上を牽引することが期待されるため、引き続き取締役候補者といたしました。</p>			

候補者番号	ふりがな 氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式数
3	再任 まつだ ゆきお 松田 毅夫 (1944年7月15日)	1966年12月 株式会社ヒューテックノオリン入社 1983年9月 同社取締役営業副本部長兼食品流通事業部長 1987年6月 株式会社ヘルティール代表取締役社長 1990年1月 株式会社ヒューテックノオリン専務取締役営業副本部長兼食品流通事業部長 2002年6月 同社代表取締役社長 2014年6月 同社代表取締役会長 2015年10月 同社代表取締役会長 2016年5月 株式会社ヘルティール代表取締役会長 2017年5月 同社取締役会長(現任) 2018年6月 当社取締役会長 2019年6月 当社取締役相談役(現任)	233,340株
【候補者とした理由】 同氏は、当社グループの主力事業会社である株式会社ヒューテックノオリンにおいて、営業部門の要職を歴任した後、長年にわたり代表取締役を務めるなど、同社のビジネスモデル構築に寄与してまいりました。また、2015年の当社設立より代表取締役会長、取締役相談役として当社グループの経営全般に携わるなど、当社グループに関する相当の知見と経営に関する豊富な経験を有しております。これらのことから、今後も当社グループの更なる発展と価値向上を牽引することが期待されるため、引き続き取締役候補者いたしました。			
4	新任 やた いちろう 矢田 市郎 (1958年7月15日)	1985年4月 名糖運輸株式会社入社 2012年9月 同社東日本営業部長 2014年4月 同社広域事業部長兼東日本営業部長 2014年6月 同社取締役広域事業部長兼東日本営業部長 2016年4月 同社常務取締役営業本部長兼広域事業部長 2018年4月 同社常務取締役営業本部長 2019年4月 同社専務取締役営業本部長 2020年10月 同社代表取締役社長兼営業本部長(現任) (重要な兼職の状況) 名糖運輸株式会社 代表取締役社長兼営業本部長	9,100株
【候補者とした理由】 同氏は、当社グループの主力事業会社である名糖運輸株式会社において、広域事業部長、営業本部長等を歴任した後、2020年10月より代表取締役社長に就任し、当社グループの事業拡大に努めてまいりました。これまでに、同社取締役として6年の経営経験を有しており、また、取締役会等の当社重要会議に参加するなど、当社グループの経営に関する知識と経験を培っております。これらのことから、当社グループの更なる発展と価値向上を牽引することが期待されるため、新たに取締役候補者いたしました。			

候補者番号	ふりがな 氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式数
5	<p>新任</p> <p>あぐい とおる 安 喰 徹 (1965年10月18日)</p>	<p>1987年4月 株式会社ヒューテックノオリン入社</p> <p>2004年4月 同社営業開発部長</p> <p>2006年6月 同社執行役員営業開発部長</p> <p>2016年4月 同社取締役営業本部長兼関東営業部長</p> <p>2018年6月 同社常務取締役営業本部長兼関東営業部長</p> <p>2019年4月 同社専務取締役営業本部長兼関東営業部長</p> <p>2020年4月 同社専務取締役営業本部長</p> <p>2020年10月 同社代表取締役社長兼営業本部長 (現任)</p> <p>(重要な兼職の状況)</p> <p>株式会社ヒューテックノオリン 代表取締役社長兼営業本部長</p>	7,800株
	<p>【候補者とした理由】</p> <p>同氏は、当社グループの主力事業会社である株式会社ヒューテックノオリンにおいて、関東営業部長、営業本部長等を歴任した後、2020年10月より代表取締役社長に就任し、当社グループの事業拡大に努めてまいりました。これまでに、同社取締役として5年の経営経験を有しており、また、取締役会等の当社重要会議に参加するなど、当社グループの経営に関する知識と経験を培っております。これらのことから、当社グループの更なる発展と価値向上を牽引することが期待されるため、新たに取締役候補者といたしました。</p>		
6	<p>再任</p> <p>社外</p> <p>おぎわ わたる 小 澤 渉 (1940年2月14日)</p>	<p>1962年4月 共栄火災海上保険相互会社入社</p> <p>1999年6月 同社代表取締役社長</p> <p>2002年6月 北海道放送株式会社取締役</p> <p>2005年6月 共栄火災海上保険株式会社取締役会長</p> <p>2007年6月 同社相談役</p> <p>2007年6月 株式会社ヒューテックノオリン社外監査役</p> <p>2015年6月 同社社外取締役</p> <p>2015年10月 当社社外取締役 (現任)</p>	4,388株
	<p>【候補者とした理由及び期待される役割の概要】</p> <p>同氏は、損害保険会社での経営者としての豊富な経験と高い見識を備えており、また、当社社外取締役としての経験と知識から、取締役会において経営全般に対する監督と有効な助言を行っております。今後も社外取締役として、これらの経験と知見を当社グループが目指す経営計画の実現に活かしていただき、また、取締役会の意思決定機能及び監督機能の強化に寄与していただけるものと判断し、引き続き社外取締役候補者といたしました。なお、同氏の社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって、5年9ヵ月となります。</p>		

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式数
7	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">再任</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 5px;">社外</div> みず たに あき ひろ 水谷 彰 宏 (1942年12月27日)	1965年4月 名糖産業株式会社入社 1999年6月 同社取締役食品開発部長 2001年6月 同社取締役総務部長 2002年10月 同社常務取締役総務部長 2003年4月 同社代表取締役常務総務部長 2003年6月 同社代表取締役社長 2014年6月 同社取締役会長 名糖運輸株式会社社外取締役 2015年6月 名糖産業株式会社相談役 2015年10月 当社社外取締役(現任)	—
<p>[候補者とした理由及び期待される役割の概要]</p> <p>同氏は、長年にわたる食品メーカーの経営者としての豊富な経験と高い見識を備えており、物流改善に対するアドバイスなど、取締役会の意思決定の妥当性及び適正性を確保するための提言を行っております。今後も社外取締役として、これらの経験と知見を当社グループが目指す経営計画の実現に活かしていただき、また、取締役会の意思決定機能及び監督機能の強化に寄与していただけるものと判断し、引き続き社外取締役候補者いたしました。なお、同氏の社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって、5年9ヵ月となります。</p>			

- (注) 1. 各取締役候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
2. 小澤渉氏、水谷彰宏氏は、社外取締役候補者であります。
 なお、当社は、両氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。また、両氏の選任が承認された場合、当社は引き続き独立役員として届け出る予定であります。
3. 当社は小澤渉氏、水谷彰宏氏との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令が定める最低責任限度額としております。また、両氏の選任が承認された場合、当社は両氏との間で上記責任限定契約を継続する予定であります。
4. 当社は、当社取締役及び監査等委員である取締役ならびに連結子会社の取締役、監査役の全員を被保険者として、会社法第430条の3第1項の規定に基づく役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約では、被保険者が会社の役員等の地位に基づいて行った不作為を含む行為に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金及び訴訟費用等が填補されることとなり、全ての保険料を当社が全額負担しております。各候補者が取締役に選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。

■ 監査等委員会の意見

当社取締役（監査等委員である取締役を除く。）の選任及び報酬については、任意で設置された「指名・報酬委員会」における審議に監査等委員である社外取締役3名が構成員として参加しております。

監査等委員会において、指名・報酬委員会の審議内容を踏まえて協議した結果、取締役の選任については、株主総会において特段指摘する事項はないと判断しております。

また、取締役の報酬等については、決定の手続きは適正であり、報酬体系や各取締役の報酬等はそれぞれの職責と業績に相応しい水準であると判断しております。

第3号議案 監査等委員である取締役4名選任の件

本定時株主総会終結の時をもって、監査等委員である取締役4名全員が任期満了となります。つきましては、監査等委員である取締役4名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査等委員会の同意を得ております。

監査等委員である取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏 名	
1	再 任	杉 ^{すぎ} 田 ^た 健 ^{けん} 一 ^{いち} 社外取締役候補者
2	再 任	高 ^{たか} 木 ^ぎ 伸 ^{のぶ} 行 ^{ゆき} 社外取締役候補者 独 立 役 員
3	再 任	館 ^{たち} 充 ^{みち} 保 ^ほ (弁護士職務上の氏名 高村 充保) 社外取締役候補者 独 立 役 員
4	再 任	鳥 ^と 羽 ^ば 史 ^し 郎 ^{ろう} 社外取締役候補者 独 立 役 員

※各監査等委員である取締役候補者の個別の選任理由については各候補者の略歴をご参照ください。

候補者 番号	ふりがな 氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式数
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">再任</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">社外</div> すぎ た けん いち 杉 田 健 一 (1963年7月31日)	1987年4月 農林中央金庫入庫 2002年1月 同庫ニューヨーク支店長代理 2005年2月 同庫債券投資部部长代理 2008年7月 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社 出向 2011年7月 農林中央金庫営業第二部副部长 2011年8月 同庫営業第二部副部长兼総合企画部副部长 2012年1月 同庫営業第二部副部长 2014年7月 同庫ニューヨーク支店長 2017年6月 株式会社ヒューテックノオリン監査役(現任) 2017年6月 名糖運輸株式会社監査役 2018年6月 当社社外監査役 2019年6月 当社社外取締役(常勤監査等委員)(現任) 名糖運輸株式会社監査役(現任) 株式会社C&Fサポートサービス監査役(現任) (重要な兼職の状況) 株式会社ヒューテックノオリン 監査役 名糖運輸株式会社 監査役 株式会社C&Fサポートサービス 監査役	1,200株
<p>〔候補者とした理由及び期待される役割の概要〕</p> <p>同氏は、長年にわたる金融機関での経験と豊富な知見を有しており、中立的及び客観的な立場から、業務執行に対する意思決定及び監督における適切な役割を果たすとともに、主力事業会社の監査役を務め、当社グループのガバナンス強化に寄与しております。これらのことから、今後も当社グループの経営における健全性、透明性及びコンプライアンス向上に貢献していただけるものと判断し、引き続き監査等委員である社外取締役候補者といたしました。なお、同氏の監査等委員である社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって、2年となります。</p>			

候補者番号	ふりがな 氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式数
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">再任</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">社外</div> たかぎのぶゆき 高木 伸行 (1953年2月25日)	1977年4月 野村証券株式会社入社 2009年2月 同社グローバルリサーチ本部リサーチ・マネージング・ダイレクター 2009年3月 国立大学法人滋賀大学経済学部附属リスク研究センター客員教授 2009年4月 芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科非常勤講師 2013年3月 株式会社エラン社外監査役 2013年6月 名糖運輸株式会社社外監査役 2015年10月 当社社外監査役 2016年2月 株式会社ラクト・ジャパン社外取締役 2017年5月 株式会社ロツテ顧問(現任) 2019年3月 中野冷機株式会社社外取締役(現任) 2019年6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任) 2020年3月 株式会社エラン社外取締役(監査等委員)(現任) (重要な兼職の状況) 株式会社ロツテ 顧問 中野冷機株式会社 社外取締役 株式会社エラン 社外取締役(監査等委員)	—
<p>[候補者とした理由及び期待される役割の概要]</p> <p>同氏は、証券会社及び他社における社外役員としての豊富な職務経験から上場会社の関係法令に関する専門的知識を有しており、また、大学講師の経験で培った幅広い知見から、中立的及び客観的な立場で、業務執行に対する意思決定及び監督における適切な役割を果たしております。今後も、さまざまな分野で培った見識から、当社グループの経営における健全性、透明性及びコンプライアンス向上に貢献していただけるものと判断し、引き続き監査等委員である社外取締役候補者といたしました。なお、同氏の監査等委員である社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって、2年となります。</p>			

候補者番号	ふりがな 氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式数
3	<p>再任 社外</p> <p>たぢ ちほ 館 充 保 (弁護士職務上の氏名 高村充保) (1974年7月14日)</p>	<p>2006年10月 弁護士登録(第一東京弁護士会) 設楽・阪本法律事務所入所(現任)</p> <p>2007年9月 株式会社コープミート監査役(現任)</p> <p>2015年6月 株式会社ヒューテックノオリン社外監査役</p> <p>2015年6月 全農エネルギー株式会社社外監査役(現任)</p> <p>2015年10月 当社社外監査役</p> <p>2019年6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任) (重要な兼職の状況)</p> <p>設楽・阪本法律事務所 弁護士 株式会社コープミート 監査役 全農エネルギー株式会社 社外監査役</p>	-
<p>[候補者とした理由及び期待される役割の概要]</p> <p>同氏は、弁護士としての専門的知識と経験から企業法務における十分な識見を有しており、中立的及び客観的な立場から、業務執行に対する意思決定及び監督における適切な役割を果たしております。今後も、法令に関する専門的知識から、当社グループの経営における健全性、透明性及びコンプライアンス向上に貢献していただけるものと判断し、引き続き監査等委員である社外取締役候補者といたしました。なお、同氏の監査等委員である社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって、2年となります。</p>			

候補者番号	ふりがな 氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式数
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">再任</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">社外</div> とぼしろう 鳥羽史郎 (1967年3月21日)	1989年10月 中央新光監査法人入所 1991年7月 中央コーパス・アンド・ライブランド国際税務事務所(現 PwC税理士法人)入所 1994年1月 中央監査法人入所 1997年1月 鳥羽公認会計士事務所代表(現任) 2004年4月 株式会社マジェスティック取締役(現任) 2005年1月 株式会社みのり会計代表取締役(現任) 2005年5月 ケネディクス不動産投資法人(現 ケネディクス・オフィス投資法人) 監督役員(現任) 2005年6月 スカイマークエアラインズ株式会社(現 スカイマーク株式会社) 監査役 2009年5月 株式会社キーストーン・パートナーズ取締役(現任) 2019年6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任) (重要な兼職の状況) 鳥羽公認会計士事務所 代表 株式会社みのり会計 代表取締役 株式会社マジェスティック 取締役 ケネディクス・オフィス投資法人 監督役員 株式会社キーストーン・パートナーズ 取締役	-
<p>〔候補者とした理由及び期待される役割の概要〕</p> <p>同氏は、公認会計士及び他社における役員としての豊富な職務経験から幅広い知見を有しており、中立的及び客観的な立場から、業務執行に対する意思決定及び監督における適切な役割を果たしております。今後も、会計に関する専門的知識から、当社グループの経営における健全性、透明性及びコンプライアンス向上に貢献していただけるものと判断し、引き続き監査等委員である社外取締役候補者といたしました。なお、同氏の監査等委員である社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって、2年となります。</p>			

- (注) 1. 各監査等委員である取締役候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
2. 各監査等委員である取締役候補者は社外取締役候補者であります。
- なお、当社は、高木伸行、舘充保及び鳥羽史郎の三氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。また、三氏の選任が承認された場合、当社は引き続き独立役員として届け出る予定であります。
3. 当社は各監査等委員である取締役候補者との間で会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令が定める最低責任限度額としております。また、各監査等委員である取締役候補者の選任が承認された場合、当社は各候補者との間で責任限定契約を継続する予定であります。

4. 当社は、当社取締役及び監査等委員である取締役ならびに連結子会社の取締役、監査役の全員を被保険者として、会社法第430条の3第1項の規定に基づく役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約では、被保険者が会社の役員等の地位に基づいて行った不作為を含む行為に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金及び訴訟費用等が填補されることとなり、全ての保険料を当社が全額負担しております。各候補者が監査等委員である取締役に選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。また、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。

以 上

(添付書類)

事業報告

(2020年4月1日から
2021年3月31日まで)

I. 企業集団の現況

1. 事業の経過及びその成果

当連結会計年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により期初から経済活動が停滞し、景気の状態は急速な悪化を余儀なくされました。政府による2020年5月の緊急事態宣言の解除後には、徐々に経済活動は再開されたものの本格的な回復には至らず、2021年1月には緊急事態宣言の再発出などもあり、景気・経済の状態は非常に不透明なまま推移いたしました。

当社グループが主軸をおく低温食品物流業界におきましては、ライフスタイルの変化を背景として冷凍・冷蔵食品の需要は底堅いものの、新型コロナウイルス感染防止対策に伴う外食機会の減少により業務用食品の荷動きは鈍化し、一方、巣ごもり消費の拡大により家庭用食品の需要は堅調に推移するなど、外食から中食・内食へのシフトが進む結果となりました。

このような食品需要の急激な変化に対し当社グループは、社会インフラでもある食のコールドチェーン機能を維持し続けるため、各拠点において十分な感染防止対策を施し従業員の安全を確保したうえで、当社グループ内における繁忙の差を利用し人員の配置転換を行うなど、グループ力を結集しこの危機に対処してまいりました。従前からの取り組みとして、自社車両による配送比率の引き上げをはじめとしたコスト構造の見直しや、従業員の定着率向上に向けた働きやすい職場環境づくり、ならびに従業員の処遇改善等も引き続き取り組んでまいりました。また、外部要因といたしまして、原油取引価格の下落に伴い燃料費は大幅に減少いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、営業収益は1,104億4千9百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は52億9千1百万円(前年同期比8.9%増)、経常利益は56億7千5百万円(前年同期比12.9%増)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、36億7千8百万円(前年同期比7.2%増)となりました。

2. 設備投資の状況

当連結会計年度中において実施いたしました企業集団の設備投資の総額は83億36百万円（リース資産含む）で、その主なものは次のとおりであります。

当連結会計年度中に設備投資した主要設備

名糖運輸株式会社

首都圏物流センター 建設工事、新潟物流センター 建設工事等

株式会社ヒューテックノオリン

中部支店 建設工事、蓮田センター 冷却設備工事等

他の主な設備投資は、車両の購入等であります。

3. 資金調達の状況

上記設備の取得等に要した資金につきましては、自己資金及び借入金により調達いたしました。

4. 対処すべき課題

当社グループの主力事業である低温食品物流の業界は、コロナ禍による物流需要の急激な変化はあるものの、ライフスタイルの変化に伴う冷凍・冷蔵食品に対する輸配送需要は引き続き堅調に推移しております。しかしながら、物流施設の建設費用の上昇や情報通信技術の高度化によるIT関連費用の増加など、高品質な物流サービスを提供するためのコストは依然として増加傾向が続いております。また、物流業界における慢性的な人手不足に加えて少子高齢化による労働人口の減少も進み、人材の確保は重要な経営課題となっております。他にも、持続可能な社会の実現に貢献するため、事業活動を通じた社会課題や環境課題の解決に取り組んでいかなければなりません。

このような課題を解決するため、当社グループは第二次中期経営計画（2019年度～2021年度）を策定し、2019年4月よりスタートしております。当社グループが目指す『グローバルに変化する食品物流を担う低温を核とする総合物流情報企業の実現』に向けて、次のとおり基本方針を定め、基本戦略に沿った具体的な取り組みを進めております。

【第二次中期経営計画】（2019年度～2021年度）

<基本方針>

『新たなインフラ整備と営業開発の推進』

当社グループにおけるT C事業、D C事業それぞれに新たなインフラ整備を進め、それらのインフラを100%活用した営業開発を推進し、各々の得意分野を一体化した顧客サービスや物流品質の更なる向上を目指してまいります。

<基本戦略（重要施策）>

- (1) インフラ整備による既存業務の効率化及び新規業務の獲得
 - ①グループの経営資源をフル活用し、基幹事業拠点の拡大と再編を推進
 - ②幹線輸送の自社化推進による収益基盤の強化
 - ③北海道・東北・北陸・中国・南九州エリアの配送体制の安定化

- (2) 顧客のニーズを先取りした提案型営業による収益拡大
 - ①グループ総合力を結集し、重要顧客との関係をより強固なものとする
 - ②コスト構造の変化に対応した料金体系の見直し提案

- (3) 新技術導入による業務効率化及び安定化
 - ①IT技術の導入による倉庫内業務・輸配送業務の効率化及び安定化
 - ②その他業務効率化・安定化に資する新たな機能・仕組みの導入

- (4) 人材確保と活用
 - ①福利厚生の実施と処遇改善による定着率の向上
 - ②採用競争力の強化による事業規模拡大に対応する人材確保
 - ③多様な人材が長く活躍できる労働環境づくり
 - ④働き方改革・ライフスタイルを考慮した労働環境への柔軟な対応

- (5) 新たな成長ステージの確立
 - ①ベトナム国におけるコールドチェーン確立に向けた既存・新規事業の拡張
 - ②ベトナム国以外の東南アジア諸国への事業展開
 - ③新たな事業ドメインの創出
 - ④M&A（国内・海外）の活用

5. 財産及び損益の状況

(1) 企業集団の財産及び損益の状況の推移

区 分	第3期 (2018年3月期)	第4期 (2019年3月期)	第5期 (2020年3月期)	第6期 (当連結会計年度 (2021年3月期))
営業収益 (百万円)	104,167	107,612	110,676	110,449
経常利益 (百万円)	3,981	4,301	5,029	5,675
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,604	2,782	3,432	3,678
1株当たり当期純利益 (円)	102.13	109.14	134.84	145.97
総資産 (百万円)	78,485	79,653	82,119	85,059
純資産 (百万円)	35,996	38,067	40,497	43,212
1株当たり純資産額 (円)	1,381.27	1,466.97	1,564.71	1,697.63

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により、1株当たり純資産額は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。
2. 当連結会計年度より株式交付信託を導入しております。当該信託が所有する当社株式については自己株式として計上しており、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 当社の財産及び損益の状況の推移

区 分	第3期 (2018年3月期)	第4期 (2019年3月期)	第5期 (2020年3月期)	第6期 (当事業年度 (2021年3月期))
営業収益 (百万円)	3,328	4,036	3,759	4,471
経常利益 (百万円)	1,841	2,207	1,765	2,528
当期純利益 (百万円)	1,698	2,095	1,780	2,508
1株当たり当期純利益 (円)	66.60	82.20	69.95	99.54
総資産 (百万円)	28,368	33,396	41,795	47,434
純資産 (百万円)	27,934	29,503	30,724	31,886
1株当たり純資産額 (円)	1,096.81	1,158.95	1,206.90	1,273.71

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により、1株当たり純資産額は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。
2. 当事業年度より株式交付信託を導入しております。当該信託が所有する当社株式については自己株式として計上しており、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

6. 重要な親会社及び子会社の状況

(1)親会社の状況

該当事項はありません。

(2)重要な子会社の状況

会社名	資本金	当社の議決権比率	主な事業内容
名糖運輸株式会社	2,176百万円	100%	一般貨物自動車運送事業 物流センター管理業務
株式会社ヒューテックノオリン	1,217百万円	100%	低温食品の保管と共同配送事業 配送センターの運営ならびに店舗配送事業
株式会社C & F サポートサービス	80百万円	100%	保険代理店業 不動産業

(3)事業年度末日における特定完全子会社の状況

特定完全子会社の名称	名糖運輸株式会社	株式会社ヒューテックノオリン
特定完全子会社の住所	東京都新宿区若松町33番8号	東京都新宿区若松町33番8号
当社及び当社の完全子会社における 特定完全子会社の株式の帳簿価額	7,112百万円	18,174百万円
当社の総資産額	47,434百万円	

7. 主要な事業内容 (2021年3月31日現在)

T C 事業	<p>通過型センター事業：365日24時間体制で、主にチルド食品を中心とした低温食品のセンター業務及び輸配送を行う事業。</p> <p>(1)低温食品の共同配送事業 全国の各要衝に展開する流通型冷蔵倉庫において、食品メーカー等から受託したチルド食品や飲料等の共同配送業務を行っております。</p> <p>(2)配送センター運営ならびに店舗配送事業 コンビニエンスストアや量販店、共同仕入機構、生活協同組合等の配送センター業務ならびに店舗配送を行っております。</p>
D C 事業	<p>保管在庫型物流事業：主に低温食品の保管・荷役及び輸配送を一体的に行う事業。全国の各要衝に展開する流通型冷凍・冷蔵倉庫において、低温食品の共同保管・荷役及び輸入冷凍食品の保税業務を行い、併せて共同配送の機能を活かし、納品先へ24時間以内でお届けするコールドチェーン物流を構築しております。</p>
そ の 他	<p>(1)警備輸送業 (2)病院等関連物流業 (3)人材派遣業 (4)保険代理店業等</p>

- (注) 1. TC事業とは、Transfer Centerの頭文字をとって表記しております。
2. DC事業とは、Distribution Centerの頭文字をとって表記しております。

8. 主要な事業所 (2021年3月31日現在)

(1)当社

本社 東京都新宿区若松町33番8号

(2)子会社

会 社 名	所 在 地
名糖運輸株式会社	東京都新宿区若松町33番8号
株式会社ヒューテックノオリン	東京都新宿区若松町33番8号
株式会社C & F サポートサービス	東京都新宿区若松町33番8号

9. 従業員の状況 (2021年3月31日現在)

(1) 企業集団の従業員の状況

従業員数	前期末比増減
5,554 (6,430) 名	404名増 (96名減)

(注) 従業員数は就業員数であり、臨時従業員は () 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

(2) 当社の従業員の状況

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
168 (8) 名	5名増 (1名減)	40.6歳	4年1ヵ月

(注) 1. 従業員数は全て名糖運輸株式会社及び株式会社ヒューテックノオリンからの出向者であります。
2. 従業員数は就業員数であり、臨時従業員は () 内に年間の平均人員を外数で記載しております。

10. 主要な借入先の状況 (2021年3月31日現在)

借入先	借入金残高
農 林 中 央 金 庫	4,624百万円
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	2,870百万円
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	1,873百万円
三 井 住 友 信 託 銀 行 株 式 会 社	1,150百万円
株 式 会 社 き ら ぼ し 銀 行	616百万円

11. その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

II. 会社の株式に関する事項

1. 株式の状況 (2021年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 100,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 25,690,766株 (自己株式535,476株を含む。)
- (3) 株主数 8,458名
- (4) 大株主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
マ ル ハ ニ チ コ 株 式 会 社	2,018千株	8.02%
協 同 乳 業 株 式 会 社	1,491千株	5.93%
農 林 中 央 金 庫	1,243千株	4.94%
共 栄 火 災 海 上 保 険 株 式 会 社	1,231千株	4.89%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,224千株	4.86%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	1,076千株	4.28%
株 式 会 社 日 本 カ ス ト デ ィ 銀 行 (信 託 口)	1,032千株	4.10%
C & F ロジホールディングス従業員持株会	849千株	3.37%
J A 三 井 リ ー ス 株 式 会 社	746千株	2.96%
C & F ロジホールディングス取引先持株会	739千株	2.94%

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (535,476株) を控除して計算しております。
 2. 上記の自己株式には、業績連動型株式報酬制度のために設定した、三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行) が所有する当社株式121,000株は含まれておりません。
 3. 持株数は千株未満、持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2. 新株予約権等の状況

該当する事項はありません。

Ⅲ. 会社役員 の 状況

1. 取締役 の 状況 (2021年3月31日現在)

地 位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
代 表 取 締 役 社 長	綾 宏 将	
代 表 取 締 役 専 務	武 藤 彰 宏	経営企画・管理担当 経営企画部長 株式会社C&Fサポートサービス代表取締役社長
取 締 役 相 談 役	松 田 鞆 夫	
常 務 取 締 役	道 田 和 宏	内部統制担当
常 務 取 締 役	酒 光 修 史	施設担当 施設企画部長
取 締 役	坂 内 茂 昭	管理本部長
取 締 役	小 澤 涉	
取 締 役	水 谷 彰 宏	
取 締 役 (常勤監査等委員)	杉 田 健 一	株式会社ヒューテックノオリン監査役 名糖運輸株式会社監査役 株式会社C&Fサポートサービス監査役
取 締 役 (監査等委員)	高 木 伸 行	株式会社ロッテ顧問 中野冷機株式会社社外取締役 株式会社エラン社外取締役 (監査等委員)
取 締 役 (監査等委員)	館 充 保 <small>弁護士職務上の氏名 高村充保</small>	設楽・阪本法律事務所弁護士 株式会社コープミート監査役 全農エネルギー株式会社社外監査役
取 締 役 (監査等委員)	鳥 羽 史 郎	鳥羽公認会計士事務所代表 株式会社みのり会計代表取締役 株式会社マジェスティック取締役 ケネディクス・オフィス投資法人監督役員 株式会社キーストーン・パートナーズ取締役

- (注) 1. 林原国雄氏は2020年9月30日をもって、当社代表取締役社長及び名糖運輸株式会社代表取締役社長を辞任いたしました。
2. 綾宏将氏は2020年9月30日をもって、株式会社ヒューテックノオリン代表取締役社長を辞任いたしました。また、2020年10月1日付けで、当社代表取締役社長に就任いたしました。なお、代表取締役社長就任以前の地位は、代表取締役副社長であります。

3. 武藤彰宏氏は2020年6月12日付けで、株式会社C & F サポートサービス代表取締役社長に就任いたしました。また、2020年10月1日付けで、当社代表取締役専務に就任いたしました。なお、代表取締役専務就任以前の地位は、専務取締役であります。
4. 取締役小澤渉、水谷彰宏、取締役（監査等委員）杉田健一、高木伸行、舘充保及び鳥羽史郎の六氏は社外取締役であります。
5. 取締役（監査等委員）杉田健一氏は金融機関における長年の経験があり、財務に関する相当程度の知見を有するものであります。取締役（監査等委員）高木伸行氏は証券会社等における長年の経験があり、主に財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。取締役（監査等委員）舘充保氏は弁護士としての専門的な知識・経験を有するものであります。取締役（監査等委員）鳥羽史郎氏は公認会計士としての専門的な知識・経験を有するものであります。
6. 当社は、取締役小澤渉、水谷彰宏、取締役（監査等委員）高木伸行、舘充保及び鳥羽史郎の五氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
7. 監査等委員会の監査・監督機能を強化するため、取締役（監査等委員を除く。）からの情報収集及び重要な社内会議における情報共有ならびに監査室、内部統制部との十分な連携を可能とすべく、杉田健一氏を常勤の監査等委員として選定しております。

2. 責任限定契約の内容の概要

当社と社外取締役であります取締役小澤渉、水谷彰宏、監査等委員である取締役杉田健一、高木伸行、舘充保及び鳥羽史郎の六氏は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令が定める最低責任限度額としております。

3. 役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は、当社取締役及び監査等委員である取締役ならびに連結子会社の取締役、監査役の全員を被保険者として、会社法第430条の3第1項の規定に基づく役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約では、被保険者が会社の役員等の地位に基づいて行った不作為を含む行為に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金及び訴訟費用等が填補されることとなります。但し、法令違反であることを認識して行った行為に起因して生じた損害は填補されないなど、一定の免責事由を定めることにより、役員等の職務執行の適正性が損なわれないように措置を講じております。また、全ての保険料を当社が全額負担しております。

4. 当事業年度に係る取締役の報酬等

(1) 取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針に関する事項

当社は、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針（以下、決定方針といいます。）を2021年2月8日開催の取締役会において定めており、その概要は以下のとおりであります。

① 基本方針

- ・ 経営計画の基本戦略の実践に根ざした報酬とする。
- ・ 優秀な人材を経営者として登用（採用）確保できる報酬とする。
- ・ 役員が動機づけされ、企業価値の長期的最大化の貢献につながる報酬体系とする。
- ・ 株主をはじめとするステークホルダーに対し、説明責任を果たせるよう「透明性」「公正性」「合理性」の高い報酬体系とする。
- ・ 個人別の役員報酬における「透明性」「公正性」「合理性」を担保するために、全ての役員報酬について、報酬委員会の諮問を経ることとする。
- ・ 報酬の目的を明確にし、役員各位の役割に応じた報酬体系を構築する。
- ・ 役員報酬制度は、国内企業が参加する役員報酬の調査結果をもとに同業種、同規模の他企業の報酬をベンチマークとして、毎年、役員報酬の水準の妥当性を検証する。
- ・ 取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬は、固定報酬としての基本報酬、業績連動報酬等及び非金銭報酬等により構成する。
- ・ 相談役及び監査等委員である取締役ならびに社外取締役の報酬は、客観的立場に基づく当社グループの経営に対する助言を考慮し、個々の役割と専任に応じた基本報酬のみとする。

② 基本報酬（金銭報酬）の個人別の報酬等の額の決定に関する方針

- ・ 当社の取締役の基本報酬は、月例の固定報酬とし、報酬委員会に諮問のうえ、株主総会の決議で定められた報酬総額の範囲内で、役位、職責に応じ双方向的に勘案して決定する。

③ 業績連動報酬等ならびに非金銭報酬等の内容及び額または数の算定方法の決定に関する方針

- ・ 業績連動報酬は、業績向上に向けての意欲を一層高めることを目的に業績指標を反映した現金報酬とする。
- ・ 業績指標は、各事業年度の連結経常利益額、連結経常利益率の達成度合いに応じて役位ごとの標準業績報酬額に乗じて算出された額を毎年、一定の時期に支給する。

- ・非金銭報酬は、取締役の報酬と業績及び株式価値の連動性をより明確にし、取締役が株価の変動による利益、リスクを株主と共有することで、中長期的な業績向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的に株式交付信託とする。
- ・業績指標は、中期経営計画の連結経常利益額の達成度合いに応じて算出された額及び役位ごとの固定額を合算した評価額に対し、1ポイントを1株とするポイントを付与し、退任時にポイントの数に相当する当社株式を交付する。
- ・業績連動報酬（金銭・非金銭）の上限は各々の標準額の150%を上限とする。
- ④金銭報酬の額、業績連動報酬等の額または非金銭報酬等の額の取締役の個人別の報酬等の額に対する割合の決定に関する方針
 - ・取締役の種類別の報酬割合は、報酬委員会にて審議し、取締役会は報酬委員会の答申内容を尊重し、当該答申で示された種類別の報酬割合の範囲で取締役の個人別の報酬内容を決定する。
 - ・報酬等の種類ごとの比率（基本報酬：業績連動報酬等：非金銭報酬等）の目安は、KPIを100%達成した場合、7：2：1とする。
- ⑤取締役の個人別の報酬等の内容についての決定に関する方針
 - ・個人別の報酬額は、取締役会決議に基づき代表取締役社長がその具体的内容について委任を受けるものとし、その権限内容は、各取締役の基本報酬の額及び各取締役の担当事業の業績を踏まえた役員賞与の評価配分とする。
 - ・取締役会は、当該権限が代表取締役社長によって適切に行使されるよう、報酬委員会に原案を諮問し答申を得るものとし、委任を受けた代表取締役社長は、当該答申の内容に従って決定する。
 - ・株式報酬は、報酬委員会の答申を踏まえ、取締役会で取締役の個人別の割り当てポイントを決議する。

(2)取締役の報酬等についての株主総会の決議に関する事項

取締役（監査等委員である取締役を除く。）及び監査等委員である取締役の金銭報酬の額は、2019年6月26日開催の第4回定時株主総会において、それぞれ、取締役（監査等委員である取締役を除く。）報酬が年額400百万円以内（内、社外取締役分30百万円以内）、監査等委員である取締役報酬が年額60百万円以内とご承認いただいております。当該定時株主総会終結時点の取締役の員数は、それぞれ、取締役（監査等委員である取締役を除く。）9名（内、社外取締役2名）、監査等委員である取締役4名であります。

また、当該金銭報酬とは別枠で、2020年6月25日開催の第5回定時株主総会において、取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）を対象とする業績連動型株式報酬制度の導入をご承認いただいております。その内容は、2021年3月末日で終了する事業年度から2022年3月末日で終了する2事業年度において、信託する金銭を100百万円以内、1事業年度あたりに交付する株式を70,000株以内とするものであります。当該定時株主総会終結時点の対象となる取締役の員数は7名であります。

(3)取締役の個人別の報酬等の内容の決定に係る委任に関する事項

当社は、取締役会決議に基づく委任を受けた代表取締役社長綾宏将が取締役の個人別の報酬額の具体的内容を決定しております。その権限の内容は、各取締役の基本報酬の額及び各取締役の担当事業の業績を踏まえた役員賞与の評価配分であり、これらの権限を委任した理由は、当社全体の業績を俯瞰しつつ各取締役の担当事業の評価を行うには代表取締役社長が最も適しているからであります。

取締役会は、当該権限が代表取締役社長によって適切に行使されるよう、報酬委員会に原案を諮問し答申を得るものとし、当該答申の内容に従って取締役の個人別の報酬額を決定していることから、取締役会はその内容が決定方針に沿うものであると判断しております。

(4)取締役の報酬等の総額等

役員区分	報酬等の総額 (百万円)	報酬等の種類別の総額 (百万円)			対象となる役員の員数 (人)
		基本報酬	業績連動報酬等	非金銭報酬等	
取締役 (監査等委員を除く) (うち社外取締役)	218 (12)	164 (12)	33 (一)	20 (一)	9 (2)
取締役 (監査等委員) (うち社外取締役)	32 (32)	32 (32)	— (一)	— (一)	4 (4)
合計 (うち社外役員)	250 (44)	196 (44)	33 (一)	20 (一)	13 (6)

- (注) 1. 上記には2020年9月30日をもって退任した取締役1名を含んでおります。
 2. 上記には使用人兼取締役の使用人分給与は含まれておりません。
 3. 上記のほかに当社社外取締役が当事業年度に当社子会社から受けた役員報酬はありません。
 4. 業績連動報酬等には当事業年度に係る役員賞与引当金の繰入額33百万円を含んでおります。
 5. 業績連動報酬等は役員賞与であり、算定の基礎として、取締役 (監査等委員を除く) の業績向上に向けての意欲を一層高めることを目的に、連結経常利益額及び連結経常利益率を業績指標として選定しております。その額は、各事業年度の業績指標の達成度合いに応じた係数を、予め定めた役位ごとの標準業績報酬額に乗じて算出しております。なお、当事業年度の業績指標の実績は、連結経常利益額5,675百万円、連結経常利益率5%であります。
 6. 非金銭報酬等は、業績達成度等に応じて付与されたポイントに相当する当社株式及び当社株式を退任日時点の時価で換算した金額相当の金銭が信託を通じて付与される株式報酬制度に基づき、当事業年度に費用計上した株式報酬相当額であります。

5. 社外役員に関する事項

(1)他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該法人等との関係

- ①取締役 (監査等委員) 杉田健一氏が兼職しております株式会社ヒューテックノオリン、名糖運輸株式会社及び株式会社C & F サポートサービスは、当社の子会社であります。
- ②取締役 (監査等委員) 高木伸行氏は、株式会社ロッテの顧問、中野冷機株式会社の社外取締役、株式会社エランの社外取締役 (監査等委員) であります。当社と上記兼職先との間に特別の関係はありません。
- ③取締役 (監査等委員) 舘充保氏は、設楽・阪本法律事務所の弁護士であり、株式会社コープミートの監査役、全農エネルギー株式会社の社外監査役であります。当社と上記兼職先との間に特別の関係はありません。

④取締役（監査等委員）鳥羽史郎氏は、鳥羽公認会計士事務所の代表であり、株式会社みのり会計の代表取締役、株式会社マジスティックの取締役、ケネディクス・オフィス投資法人の監督役員、株式会社キーストン・パートナーズの取締役であります。当社と上記兼職先との間に特別の関係はありません。

(2)当事業年度における主な活動状況

①取締役会及び監査等委員会への出席状況

区分	氏名	取締役会（14回開催）		監査等委員会（16回開催）	
		出席回数	出席率	出席回数	出席率
取締役	小澤 渉	14回	100%	—	—
	水谷 彰宏	14回	100%	—	—
取締役 (監査等委員)	杉田 健一	14回	100%	16回	100%
	高木 伸行	13回	93%	16回	100%
	舘 充保	14回	100%	16回	100%
	鳥羽 史郎	14回	100%	16回	100%

②取締役会及び監査等委員会における発言状況

- ・取締役小澤渉氏は、豊富な企業経営の経験と高い見識に基づき適宜発言し、議案審議の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行っております。
- ・取締役水谷彰宏氏は、豊富な企業経営の経験と高い見識に基づき適宜発言し、議案審議の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行っております。
- ・取締役（監査等委員）杉田健一氏は、金融機関での経験で培った財務・会計に関する豊富な知見に基づき適宜発言し、議案審議の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行い、またコンプライアンス、ガバナンス等に対する意見を述べております。
- ・取締役（監査等委員）高木伸行氏は、証券会社等のさまざまな職務で培った経験、見識に基づき適宜発言し、議案審議の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行い、またコンプライアンス、ガバナンス等に対する意見を述べております。
- ・取締役（監査等委員）舘充保氏は、弁護士として法律に関する専門的見地に基づき適宜発言し、議案審議の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行い、またコンプライアンス、ガバナンス等に対する意見を述べております。

- ・取締役（監査等委員）鳥羽史郎氏は、公認会計士としての財務・会計の専門的見地に基づき適宜発言し、議案審議の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行い、またコンプライアンス、ガバナンス等に対する意見を述べております。
- ③社外取締役が果たすことが期待される役割に関して行った職務の概要
- ・取締役小澤渉氏は、取締役会において企業経営の経験から積極的な発言を行うなど、当社の社外取締役として、業務執行に対する意思決定及び監督における適切な役割を果たしております。また、指名委員会及び報酬委員会の委員として、開催した全ての委員会に出席し、特に報酬委員会では委員長を務め、役員報酬制度の設計プロセスにおける主導的役割を果たしております。
 - ・取締役水谷彰宏氏は、取締役会において企業経営の経験から積極的な発言を行うなど、当社の社外取締役として、業務執行に対する意思決定及び監督における適切な役割を果たしております。また、指名委員会及び報酬委員会の委員として、開催した全ての委員会に出席し、特に指名委員会では委員長を務め、取締役等の選定プロセスにおける主導的役割を果たしております。
 - ・取締役（監査等委員）杉田健一氏は、取締役会において金融機関での経験から適宜発言を行うなど、当社の社外取締役（監査等委員）として、業務執行に対する意思決定及び監督における適切な役割を果たしております。また、常勤社外取締役（監査等委員）として経営会議等の社内重要会議に出席し、当社のコンプライアンス、ガバナンス等の向上に資する役割を果たしております。
 - ・取締役（監査等委員）高木伸行氏は、取締役会において証券会社等での経験から適宜発言を行うなど、当社の社外取締役（監査等委員）として、業務執行に対する意思決定及び監督における適切な役割を果たしております。また、指名委員会及び報酬委員会の委員として、開催した全ての委員会に出席し、検討プロセスにおいて独立した客観的立場としての役割を果たしております。
 - ・取締役（監査等委員）館充保氏は、取締役会において、主に弁護士の見識から適宜発言を行うなど、当社の社外取締役（監査等委員）として、業務執行に対する意思決定及び監督における適切な役割を果たしております。また、指名委員会及び報酬委員会の委員として、開催した全ての委員会に出席し、検討プロセスにおいて独立した客観的立場としての役割を果たしております。

- ・取締役（監査等委員）鳥羽史郎氏は、取締役会において公認会計士等の見識から適宜発言を行うなど、当社の社外取締役（監査等委員）として、業務執行に対する意思決定及び監督における適切な役割を果たしております。また、指名委員会及び報酬委員会の委員として、開催した全ての委員会に出席し、検討プロセスにおいて独立した客観的立場としての役割を果たしております。

IV. 会計監査人の状況

1. 会計監査人の名称

EY新日本有限責任監査法人

2. 報酬等の額

	支 払 額
当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額	24百万円
当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	54百万円

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 監査等委員会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積りの算出根拠などが適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等の額について会社法第399条第1項及び第3項の同意を行っております。
3. 当社の海外子会社につきましても、当社の会計監査人以外の監査法人の監査を受けております。

3. 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

当社監査等委員会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合には、監査等委員全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査等委員会が選定した監査等委員は、解任した旨及び解任の理由を解任後最初に招集される株主総会において報告いたします。

また、当社監査等委員会は、会計監査人の職務の執行状況や当社の監査体制等を勘案して会計監査人の変更が必要であると認められる場合には、株主総会に提出する会計監査人の解任または不再任に関する議案の内容を決定いたします。

連結貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	19,958	流 動 負 債	17,577
現 金 及 び 預 金	7,403	営 業 未 払 金	4,293
営 業 未 収 金	11,005	短 期 借 入 金	800
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	271	一 年 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金	2,551
そ の 他	1,281	リ ー ス 債 務	1,702
貸 倒 引 当 金	△3	未 払 法 人 税 等	1,291
固 定 資 産	65,100	賞 与 引 当 金	2,168
有 形 固 定 資 産	54,531	役 員 賞 与 引 当 金	57
建 物 及 び 構 築 物	17,627	そ の 他	4,712
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	4,696	固 定 負 債	24,269
土 地	20,168	長 期 借 入 金	8,219
リ ー ス 資 産	7,384	リ ー ス 債 務	6,150
建 設 仮 勘 定	4,456	繰 延 税 金 負 債	227
そ の 他	197	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	404
無 形 固 定 資 産	603	退 職 給 付 に 係 る 負 債	6,967
投 資 そ の 他 の 資 産	9,965	株 式 給 付 引 当 金	45
投 資 有 価 証 券	4,271	資 産 除 去 債 務	1,822
長 期 貸 付 金	134	そ の 他	432
繰 延 税 金 資 産	3,083	負 債 合 計	41,846
そ の 他	2,490	(純 資 産 の 部)	
貸 倒 引 当 金	△14	株 主 資 本	41,768
資 産 合 計	85,059	資 本 金	4,000
		資 本 剰 余 金	5,646
		利 益 剰 余 金	33,223
		自 己 株 式	△1,100
		そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	729
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	798
		土 地 再 評 価 差 額 金	35
		為 替 換 算 調 整 勘 定	△77
		退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	△26
		非 支 配 株 主 持 分	713
		純 資 産 合 計	43,212
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	85,059

(注) 記載金額は、百万円未満切り捨てにより表示しております。

連結損益計算書

(2020年4月1日から
2021年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目		金 額	
営業	業 業 収 益		110,449
営業	業 業 原 価		101,135
営業	業 業 総 利 益		9,314
販売	費 及 び 一 般 管 理 費		4,023
営業	業 業 外 収 益		5,291
	受 取 利 息 及 び 配 当 金	68	
	受 取 保 険 返 戻 金	56	
	受 取 賃 貸 料	97	
	持 分 法 に よ る 投 資 利 益	69	
	補 助 金 の 収 入	226	
	そ の 他	254	773
営業	業 業 外 費 用		
	支 払 利 息	231	
	一 入 解 約 損	7	
	為 替 差 損	103	
	そ の 他	47	389
特 殊	別 常 利 益		5,675
特 殊	固 定 資 産 売 却 益	120	120
	固 定 資 産 除 却 損	18	149
	訴 訟 関 連 損	130	
税金	等 調 整 前 当 期 純 利 益		5,647
法人	税、 住 民 税 及 び 事 業 税	2,104	
法人	人 税 等 調 整 額	△187	1,916
当 期	純 利 益		3,730
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益			52
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益			3,678

(注) 記載金額は、百万円未満切り捨てにより表示しております。

貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	13,340	流 動 負 債	7,251
現 金 及 び 預 金	2,066	営 業 未 払 金	160
営 業 未 収 金	178	短 期 借 入 金	4,310
前 払 費 用	17	一年以内返済予定の長期借入金	2,548
関 係 会 社 短 期 貸 付 金	10,548	リ ー ス 債 務	11
未 収 入 金	526	未 払 費 用	21
そ の 他	2	未 払 法 人 税 等	11
固 定 資 産	34,093	前 受 金	3
有 形 固 定 資 産	192	預 り 金	4
建 物	36	賞 与 引 当 金	97
リ ー ス 資 産	43	役 員 賞 与 引 当 金	33
建 設 仮 勘 定	107	そ の 他	49
そ の 他	5	固 定 負 債	8,296
無 形 固 定 資 産	42	長 期 借 入 金	8,214
投 資 其 他 の 資 産	33,859	リ ー ス 債 務	38
関 係 会 社 株 式	25,504	株 式 給 付 引 当 金	20
関 係 会 社 長 期 貸 付 金	8,213	資 産 除 去 債 務	23
繰 延 税 金 資 産	53	負 債 合 計	15,547
そ の 他	87	(純 資 産 の 部)	
資 産 合 計	47,434	株 主 資 本	31,886
		資 本 金	4,000
		資 本 剰 余 金	21,477
		資 本 準 備 金	1,000
		そ の 他 資 本 剰 余 金	20,477
		利 益 剰 余 金	7,557
		そ の 他 利 益 剰 余 金	7,557
		繰 越 利 益 剰 余 金	7,557
		自 己 株 式	△1,148
		純 資 産 合 計	31,886
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	47,434

(注) 記載金額は、百万円未満切り捨てにより表示しております。

損 益 計 算 書

(2020年 4 月 1 日から
2021年 3 月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
営 業 収 益		
受 取 配 当 金 収 入	2,521	
経 営 指 導 料 収 入	672	
業 務 受 託 料 収 入	1,248	
そ の 他 収 入	28	4,471
営 業 原 価		52
営 業 総 利 益		4,419
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,953
営 業 利 益		2,466
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	136	
そ の 他	7	143
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	80	
そ の 他	1	81
経 常 利 益		2,528
税 引 前 当 期 純 利 益		2,528
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	15	
法 人 税 等 調 整 額	4	20
当 期 純 利 益		2,508

(注) 記載金額は、百万円未満切り捨てにより表示しております。

連結計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

2021年5月19日

株式会社C & F ロジホールディングス
取締役会 御中

E Y 新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 北 澄 和 也 ㊞
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 上 林 礼 子 ㊞
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社C & F ロジホールディングスの2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社C & F ロジホールディングス及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

連結計算書類に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

2021年5月19日

株式会社C & F ロジホールディングス
取締役会 御中

E Y 新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 北 澄 和 也 ㊞
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 上 林 礼 子 ㊞
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社C & F ロジホールディングスの2020年4月1日から2021年3月31日までの第6期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

計算書類等に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査等委員会の監査報告

監 査 報 告 書

当監査等委員会は、2020年4月1日から2021年3月31日までの第6期事業年度における取締役の職務の執行について監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監査等委員会は、会社法第399条の13第1項第1号ロ及びハに掲げる事項に関する取締役会決議の内容ならびに当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明するとともに、下記の方法で監査を実施しました。

- ①監査等委員会が定めた監査の方針、職務の分担等に従い、会社の内部統制部門と連携の上、重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行に関する事項の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事務所において業務及び財産の状況を調査しました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
- ②会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（2005年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書ならびに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③内部統制システムに関する取締役会の決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 E Y 新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人 E Y 新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2021年5月19日

株式会社C&Fロジホールディングス 監査等委員会

常勤監査等委員 杉 田 健 一 ㊟

監査等委員 高 木 伸 行 ㊟

監査等委員 舘 充 保 ㊟

監査等委員 鳥 羽 史 郎 ㊟

(注)監査等委員杉田健一、高木伸行、舘充保及び鳥羽史郎は、会社法第2条第15号及び第331条第6項に規定する社外取締役であります。

以 上

第6回定時株主総会会場ご案内図

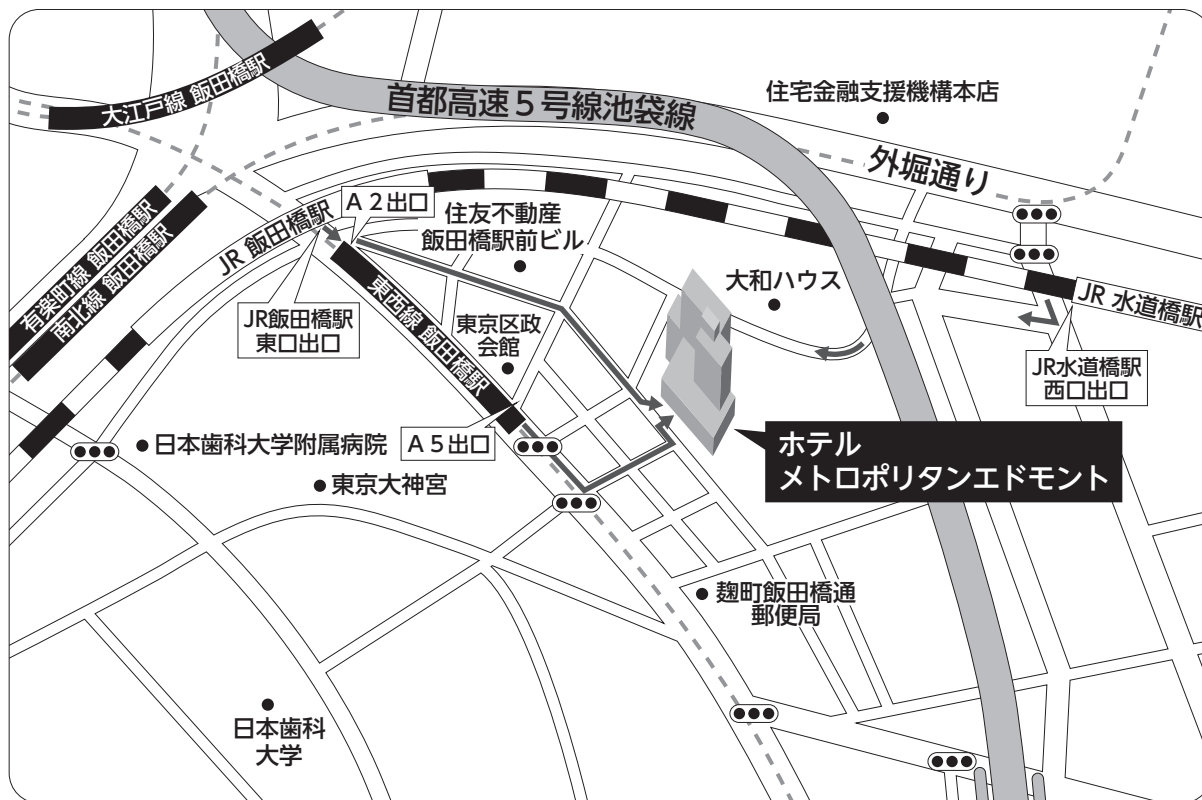
会 場 〒102-8130 東京都千代田区飯田橋三丁目10番8号

ホテルメトロポリタン エドモント 本館2階「悠久」

電 話 03-3237-1111 (代表)

交 通 ・ J R 飯田橋駅東口 / J R 水道橋駅西口より徒歩約5分

・ 地下鉄東西線 飯田橋駅A5出口より徒歩約2分



総会ご出席者へのお土産をご用意しておりませんので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

VEGETABLE
OIL INK